



2015

環境社会報告書





東北復興支援植樹 「カワイの森」

2015年5月9日(土)
宮城県東松島市矢本



2015年3月11日に全国4か所で同時開催したチャリティーコンサートの収益金と寄付金、カワイの森育成会の会費をもとに林野庁「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参画して、5月9日に宮城県東松島市矢本において海岸防災林再生のための「カワイの森」植樹会を開催しました。

当日、仙台市や石巻市など地元のカワイ音楽教室とカワイ体育教室に通っている生徒さんとそのご家族にも公募により参加していただき、総勢75名で1,000m²のエリアに500本のクロマツの苗木を植樹しました。(関連記事7ページ参照)



編集方針

内 容

カワイグループにおける環境活動側面に加え2003年度からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し、企業における社会的責任の視点を充実させ2004年度版からタイトルも「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。

なお、経済側面につきましては、概要を4ページに記載しました。カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対 象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・N G O、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2015年版について

出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめました。また、関連資料は資料編にまとめました。

報告対象期間

2014年度（2014年4月～2015年3月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては2015年4月以降の最新情報を含んでいます。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- | | |
|----------------|--------------------|
| ・(株) 河合楽器製作所 | 本社 / 竜洋工場 / 国内営業部門 |
| ・カワイ精密金属(株) | ・(株) カワイハイパーウッド |
| ・(株) カワイ音響システム | ・メルヘン楽器(株) |

目 次

はじめに	3
社長コミットメント	3
企業概要	4
カワイグループの事業と会社の概要	
経営の理念・行動指針	5
カワイグループのあゆみ	6
音楽を通じた支援活動	7
環境報告	8
カワイの環境への取り組み	8
地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織	8
環境経営	9
2014年度の環境目標と実績	9
事業活動に伴う環境配慮	10
地球温暖化の防止	10
製品の環境負荷（LCA）	11
廃棄物削減・再資源化	12
グリーン調達	13
環境配慮型製品	14
ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵	14
省電力型デジタルピアノ	15
カワイ防音ルーム「ナサールユニットタイプ」	16
環境パフォーマンス	17
マテリアルバランス	17
社会性報告	18
経営計画	18
第4次中期経営計画	18
コーポレート・ガバナンス	19
コーポレート・ガバナンス 体制/内部統制システム	20
リスク管理体制	21
株主・投資家の皆様とともに	22
お客様との関係	23
文化貢献活動	23
教育事業	25
カワイ健康づくりシステム	26
スポーツコミュニティ	27
コミュニケーション	28
地域社会との共生	28
地域社会との交流	29
情報発信	30
環境社会報告書のウェブサイトによる開示	31
環境社会報告書の継続的発行	31
資料編	32
環境負荷サイト別一覧	32
第三者意見	33
アンケートのお願い	34

カワイウェブサイトアドレス			
カワイホームページ	http://www.kawai.co.jp/	カワイ音楽教室	http://music.kawai.jp/
環境への取り組み	http://www.kawai.co.jp/csr/	カワイ体育教室	http://www.kawai.jp/physical/
IR情報	http://www.kawai.co.jp/ir/	イベント情報	http://www.kawai.jp/event/
ブランドメッセージ	http://www.kawai.co.jp/brand/	お客様サポート	http://www.kawai.jp/support/
製品情報	http://www.kawai.jp/product/	文化貢献事業	http://www.kawai.co.jp/csr/culture/
販売店情報	http://www.kawai.jp/shop/	コンプライアンスの取り組み	http://www.kawai.co.jp/csr/compliance/
直営店情報	http://shop.kawai.jp/	全音楽譜出版社	http://www.zen-on.co.jp/



はじめに

快適で豊かな生活環境の創造のために

社長コメント

カワイグループは創業以来、より良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、企業活動を推進して参ります。環境社会報告書2015年版の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

東日本大震災から4年が経過し、被災地からの明るい話題や復旧・復興に向けて着実に取り組んでいる姿を拝見する機会も増えてまいりましたが、被災地でいまもなお厳しい状況におかれている皆様には改めてお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

カワイグループは行動指針の一つである「自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう」に則り、震災直後から全社統一スローガン『がんばろう日本！つながろう音楽で！～カワイは「日本の元気」を応援します～』を掲げ、音楽を通じた支援活動を継続してまいりました。2015年3月11日には被災地での植樹支援を目的としたチャリティコンサートを仙台・東京・名古屋・大阪の4会場で開催し、そこで皆様からお預かりしました寄付金とコンサートの収益金はカワイの森育成会を通じて被災地の海岸防災林の再生に役立てることとし、5月9日にカワイ音楽教室の生徒さんにもご参加いただき、宮城県東松島市矢本地区にクロマツを植樹いたしました。カワイグループは、今後も音楽を通じて被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。

さて、2013年度からの第4次中期経営計画(平成25年4月～平成28年3月)では、①グローバルブランドを確立する ②音楽文化の普及に貢献する ③お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る ④収益性を高め継続的な発展を目指す の4つの将来ビジョンの遂行に取り組んでおります。

第4次中期経営計画の最終年である2015年度は引き続き成長戦略と構造改革の諸施策を着実に遂行してまいります。各事業において知識と経験を持つ者はよき助言者となって、若い人たちが主体的に活動できる環境を整え、第5次中期経営計画に向けて若返りを推進し、新しい時代に向けた体制を整えていきたいと考えています。

鍵盤楽器については高付加価値の商品の開発と従来以上の丁寧な顧客サービスを徹底したいと考えます。国内市場を強化しながら将来を見据え、教育熱が盛んなアジア市場で音楽教室を中心とした三位一体活動を展開して、弊社の強みである調律事業についても国際展開を図っていきたいと考えます。また、米国市場では海外販売のビジネスモデルとして、直営店の展開を図ってまいります。



代表取締役社長
河合弘隆

カワイグループの環境への配慮として、1997年に楽器業界では世界で初めてピアノ生産部門である竜洋工場で環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しました。以後、「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」のもと、国内外の生産拠点に環境マネジメントシステムの導入を推進してきました。2007年には(株)カワイハイパー・ウッドでエコアクション21、2011年にはインドネシアのPT.カワイインドネシアでISO14001、2012年にはカワイ精密金属(株)でエコアクション21、河合楽器(寧波)有限公司でISO14001、2015年にはカワイ精密金属(株)でISO14001の各認証を取得しました。このように、環境マネジメントにおいてもグローバルに活動を強化しております。

2007年の創立80周年の記念事業の一環としてインドネシアにおいてスタートした植林活動は、地球環境の保全と社会貢献の観点から今後も継続してまいります。また、循環型社会形成のためにピアノの再生利用などの活動にも継続して取り組んでまいります。

現代は地球温暖化、エネルギー・資源問題など地球規模の課題を多く抱えていますが、カワイグループは持続可能な社会の実現と音楽文化の発展に貢献することを基本に、皆様の快適で豊かな生活環境の創造のために努力を続けていく所存です。

カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまとめました。今後とも皆様にご理解をいただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

企業概要

カワイグループの事業と会社の概要

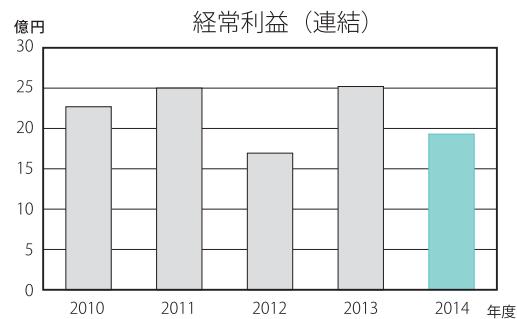
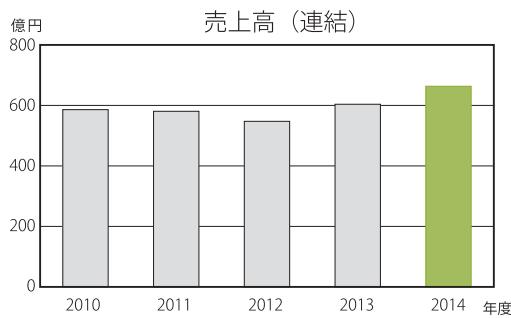
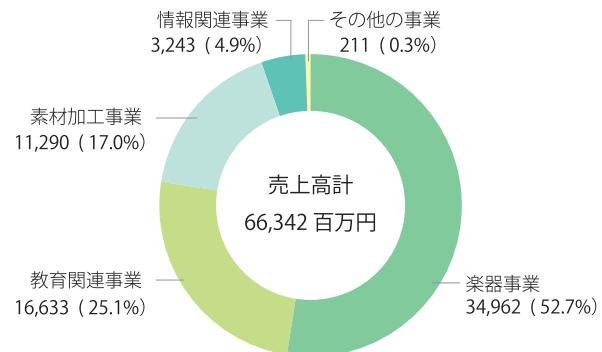


社名 株式会社河合楽器製作所
本社 静岡県浜松市中区寺島町200番地
創立 1927年（昭和2年）8月9日
設立 1951年（昭和26年）5月15日
代表者 代表取締役社長 河合弘隆
資本金 6,609百万円（2015年3月末現在）

年度	2012	2013	2014
売上高（百万円）	単独 46,006 連結 54,740	48,650 60,387	48,059 66,342
従業員数（名）	単独 1,400 連結 2,812	1,414 2,917	1,374 2,895

事業セグメント別の売り上げ構成（2014年度連結）

単位：百万円



カワイグループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務

● 国内の販売

(株)河合楽器製作所 直営販売部 / 卸販売部

(株)ディアパソン、(株)全音楽譜出版社 他

● 海外での販売

カワイアメリカコーポレーション

カワイヨーロッパGmbH

カワイカナダミュージックLtd.

カワイオーストラリアPTY.Ltd.

ミディミュージックセンターInc.

PT.カワイミュージックインドネシア

河合貿易（上海）有限公司

カワイUK Ltd.

カワイピアノ・ロシア

海外販売代理店及び商社

● 楽器の調律・修理

(株)河合楽器製作所 国内営業本部 営業戦略部

● 楽器の国内での製造

(株)河合楽器製作所 竜洋工場

(株)全音楽譜出版社

● 楽器の海外での製造

PT.カワイインドネシア

河合楽器（寧波）有限公司、上海カワイ電子有限公司

● その他

(株)カワイ友の会、メルヘン楽器(株)

教育関連事業

音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

● 国内 (株)河合楽器製作所

(株)全音楽譜出版社

● 海外 PT.カワイミュージックスクールインドネシア

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、銑鉄鋳物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

● 金属異形圧延加工品の製造

カワイ精密金属(株)

● 自動車部品用材料の製造

(株)カワイハイパーウッド

● 銑鉄鋳物の製造及び販売

(株)カワイキャスティング

● 防音室・音響部材の製造及び販売

(株)カワイ音響システム

情報関連事業

● IT機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売

(株)カワイビジネスソフトウェア

その他

● 金融関連事業、保険代理店事業 他

(株)カワイアシスト

(株)カワイ旅行センター



経営の理念・行動指針

創業以来、私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてまいりました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは下に記します経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

経営の理念・行動指針

経営の基本的な考え方と方向性

カワイの原点は音楽…

社会貢献

顧客志向性…

企業倫理

新しい時代への対応…

持続社会

闊達な企業風土の創造…

社会的責任

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきた。

社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を目指して

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を發揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

KAWAI

1996年4月1日制定

カワイグループ全体の活動の根底をなすもの

積極果敢

自己の向上

挑 战

地球環境保護活動

継 続



カワイグループのあゆみ

事業沿革

1927 河合小市 河合楽器研究所を創立 ピアノの製造・販売を開始
1929 河合楽器製作所と改称
1935 合名会社河合楽器製作所と改組
1951 株式会社河合楽器製作所と改組
1955 河合滋 社長に就任
1956 カワイ音楽教室を創設
1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
1966 カワイ音楽教室中央講師養成所（カワイ音楽学園）を創設
1967 カワイ体育教室を創設

1976 西ドイツにカワイドイチュランド GmbH を設立
1979 西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立
1980 金属圧延加工のカワイ精密金属(株)を設立
　　グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成
1981 オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立
1984 (株)カワイビジネスソフトウエア設立
1988 アメリカにミディミュージックセンター Inc. を設立
1989 河合弘隆 社長に就任

1991 マレーシアにカワイアジアマニュファクチャリング SDN.BHD を設立
1996 新経営の理念、行動指針制定
1997 カワイ精密金属(株)浜松事業所 ISO9002 認証取得
1998 (株)カワイハイパーウッド設立
1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売
2001 インドネシアにPT. カワイインドネシアを設立
　　最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
2002 中国に河合貿易（上海）有限公司を設立
　　カワイ倫理規範、倫理行動規準制定
2003 カワイ精密金属(株)浜松事業所 ISO9001 認証取得
2004 カワイ精密金属(株) ISO9001 認証を全社に拡大
　　中国に河合楽器（寧波）有限公司を設立
2005 竜洋工場 ISO9001 認証取得
2006 アコースティックピアノの塗装を行うカワイインドネシア第2工場設置
　　旗艦店「カワイ表参道」リニューアルオープン
2007 電子楽器組立を行うカワイインドネシア第3工場設置
　　中国上海市内にカワイ音楽教室第1号教室開設
2008 河合楽器（寧波）有限公司 ISO9001 認証取得
　　PT. カワイインドネシア第3工場 ISO9001 認証取得
2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
　　PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO9001 認証取得
　　カワイ精密金属（株）浜松工場の建物増設
2011 インドネシアにPT. カワイミュージックインドネシアを設立
2012 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」モデルチェンジ
　　フルコンサートグランドピアノ「E X - L」発売
　　中国に上海カワイ電子有限公司を設立
　　石川県羽咋市に(株)カワイキャスティング設立
2013 旗艦店「カワイ梅田」リニューアルオープン
　　グランドピアノ GX シリーズ発売
2014 北海道エリアに「カワイ札幌」リニューアルオープン
　　アップライトピアノ新Kシリーズ発売 (株)全音楽譜出版社を子会社化
　　ロシアモスクワ市にカワイピアノ・ロシアを設立
2015 (株)学研ホールディングスと業務提携

環境社会活動

1920	
1950	
1970	
1980	1975 生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年 1978 生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理をスタート 1980 『森の中の緑の工房』竜洋工場完成
1990	1994 地球環境憲章制定 シンボルマーク決定 全社的な推進組織の地球環境委員会発足 1996 環境推進室 に名称変更 1997 竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初 舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞 1998 舞阪工場で ISO14001 認証取得 竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として中部通商産業局長表彰 2001 タイプIII環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示 舞阪工場「危険物優良事業所」表彰 2003 工場統廃合によるインフラの整備 木屑ボイラーの廃止 2005 竜洋工場が緑化優良工場として日本緑化センター会長奨励賞 受賞 2006 河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の感謝状 木材調達ガイドラインの開示 2007 (株)カワイハイパーウッドでエコアクション21 認証取得 「カワイの森」インドネシア植林事業開始 2008 産業廃棄物適正処理推進功労者に対する静岡県知事褒賞 受賞
2010	2010 メルヘン楽器(株)でエコアクション21 認証取得 河合弘隆社長ポーランド共和国コマンドール十字勲章授与 2011 PT. カワイインドネシア第1・第2工場で ISO14001 認証取得 CS環境室に名称変更 2012 カワイ精密金属(株)でエコアクション21 認証取得 河合楽器（寧波）有限公司で ISO14001 認証取得 2013 JR浜松駅前看板をLED方式による、カーボンオフセットサインとして25年振りに一新 はままつ広告景観賞かんばん部門受賞 「カワイの森」インドネシア植林 第2期植林活動開始（2013～2017）
2015	2015 カワイ精密金属(株)で ISO14001 認証取得 東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動



音楽を通じた支援活動

カワイグループでは、楽器メーカーとして
音楽や楽器を通じて、様々な支援活動に取り組んでいます

東日本大震災の被災地への継続的支援活動

被災地植樹支援チャリティーコンサート 2015

東日本大震災から4年が経った2015年3月11日に仙台・東京・名古屋・大阪の4か所で同時に『東日本大震災 被災地植樹支援チャリティーコンサート2015』を開催しました。カワイ表参道でのチャリティーコンサートは今回で11回目となりました。それぞれの地元の第一線で活躍されている演奏者の方々、大阪会場では昼夜2部構成で音楽家を目指す高校生、音楽大学生にご出演のご協力を頂き、4会場とも満席で合計450名ほどのお客様にお集まりいただきました。

各会場とも祈りのこもった演奏に対して、客席から盛大な拍手が贈られ、音楽を通じて会場に集まった方々の思いが一つとなり、非常に温かな雰囲気に包まれたひとときとなりました。とくに仙台会場では



お客様から「あの日の慟哭が静寂の暗闇から迫つてくる思いに駆られ、静かな祈りの余韻に感動し、最後に全員で合唱した『ふるさと』では震災当時を思い出して涙ぐみ、震災直後の初めての復興コンサートでの『杜の都は必ず復興する！負けない！』のメッセージを思い出しました。音楽の力で復興支援にご尽力の程、祈っております。」と嬉しいお便りを頂きました。

皆様からお預かりしました寄付金とコンサートの収益金487,773円は、カワイの森育成会を通じて被災地の植樹に使わせていただきました。カワイグループは、今後も音楽を通じて被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。



被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

2015年5月9日 宮城県東松島市矢本地区での植樹会

海岸防災林再生のための「カワイの森」は、東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生をめざす林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参画した活動で、宮城北部森林管理署とカワイの森育成会とが協定を締結して植栽から保育までを継続的に取り組む復興支援活動です。

今回の植樹会は3月11日に全国4か所で開催された「被災地植樹支援チャリティーコンサート2015」でお寄せいただいた寄付金と収益金、カワイの森育成会の会費をもとに実施されました。

植樹会当日には、宮城県内のカワイ音楽教室・カワイ体育教室の生徒さんや保護者の皆さん、宮城北部森林管理署の方々、計約75名にご参加いただき、500本のクロマツの苗木を植樹しました。植樹は初めてという参加者がほとんどでしたが、日常では経験できない素晴らしい体験の機会になったといった声を聞くことができました。





環境報告 カワイの環境への取り組み

カワイ地球環境憲章に定める基本理念と行動指針に基づいて
環境保全活動を展開しています

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織

地球環境憲章

地球環境憲章

地球人とやさしい企業をめざして

『基本理念』

「循環製造業」をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に努めています。また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

私たち人間が快適な生活環境の創出を優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

『行動指針』

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好的な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源的有效活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 作品の研究開発・設計段階からリサイクルと新素材の生産量の減少を目指します。
5. 環境の保護活動に取り組み、国内外の環境に心配、地域との共生をを目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

カワイグループは、すばらしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

環境方針

カワイ環境方針

カワイ地球環境委員会

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を考慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と清潔の予防に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な製品開発を実現することを目標に設定するとともに、社会の樹木や生き方に貢献する活動を実施します。
 - ①会員の皆様と環境負荷に配慮した「點滴、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
 - ②開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
2. 必要な資源の調達・購入に関しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
3. 環境に適応する法規を遵守するとともに、その他の要件を尊重して自主的な標準を確立し、環境規制レベルの向上に努めます。
4. 環境教育を強化し、会社の意識向上を図るとともに、一人ひとりが強く社会に目を向けて、日常生活や日常生活の中で自主的な行動がができるよう努力と支援を行います。
5. この環境方針を達成するため、環境部門担当者を中心とした環境委員会の組織、連携体制を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kp_20040127.pdf

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月を中心に各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。

環境監査

カワイでは、環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

外部審査

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベラントス審査および定期毎の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

環境マネジメントシステム(EMS)

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくシステム。国際規格のISO14001、環境省が策定したエコアクション21などがあります。

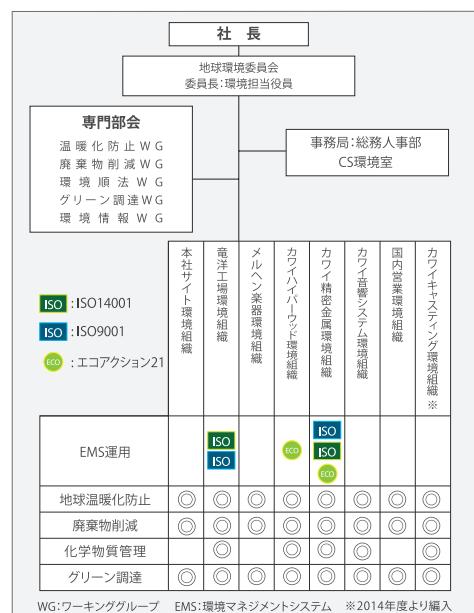
カワイ精密金属株式会社で「ISO14001」認証取得

カワイグループは1997年に業界で最初に竜洋工場に環境マネジメントシステムISO14001を導入して以来、海外生産拠点を含むグループ全体に環境マネジメントシステムの導入を推進しています。

2011年にPT.カワイインドネシア、2012年に中国の河合楽器（寧波）有限公司でISO14001認証取得したのに続き、2015年4月にはカワイ精密金属株式会社においてもISO14001の認証を取得しました。



カワイ精密金属（株）





環境経営

CO₂排出量・廃棄物排出量の削減に取り組んでいます

2014年度の環境目標と実績

2013年度から2015年度の3ヶ年計画・目標

地球温暖化防止を重点課題と考え、CO₂排出量の削減に全社で取り組んでいます。

2010年度から2012年度までの前の3か年計画の実績をうけて、地球環境委員会で2013年度から2015年度までの新たな3か年計画を定めました。

この3か年計画における環境目標は、CO₂排出量と廃棄物排出量について、2012年度を新たな基準年として、売上高100万円当たりの原単位で毎年1%削減することと設定いたしました。

環境目標(2013年度～2015年度)		基準年：2012年度
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	毎年1%削減(原単位)
資源の循環活用	廃棄物量	毎年1%削減(原単位)

2014年度の実績

各事業所の環境組織では、活動の主な目的・目標として「生産効率の向上」「不良率の削減」「資源の有効活用」などを掲げて環境マネジメントシステムの推進に取り組んでまいりました。

2014年度の実績はCO₂排出量原単位で2012年度比-17.2%と目標値(-2%)を達成できました。また、廃棄物排出量原単位に関しましても2012年度比-23.2%と減少し、目標値(-2%)を達成しました。

	指標	2010年度	2011年度	2012年度	2014年度		
		実績	実績	実績	実績	増減	評価
地球 温 暖 化 防 止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	305	282	296	245	-17.2%	◎
	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	6,328	5,911	6,156	5,216	-15.3%	◎
資源 有 効 活 用	廃棄物排出量(総量) (ton)	1,139	1,089	992	924	-6.9%	◎
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	19.6	19.2	18.1	13.9	-23.2%	◎

評価 ◎：達成 ×：未達成

環境経営指標

CO₂排出量の集計につきましては、2009年度までカワイグループ内の国内生産拠点および主要支社のCO₂排出量を集計し、全売上高で除した指標(原単位)を用いてきましたが、2010年度からは改正省エネ法に対応するために国内生産拠点および全ての支社・営業所・音楽教室を含めたカワイグループ全体のCO₂排出量を集計して、原単位を算出しております。

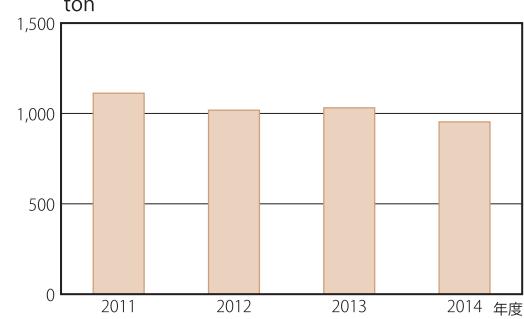
また、産業廃棄物の排出量の総量は、2012年度に対して6.9%、2013年度に対して7.4%減少しました。これは、竜洋工場における徹底した資源の有効活用及びカワイ精密金属の廃棄物の有価物化への取組みなどの廃棄物削減の努力によるものです。

今後も廃棄物の削減、資源の有効活用を重点課題として継続して検討を進めてまいります。

CO₂排出量原単位(省エネ法準拠の集計)



産業廃棄物排出量





事業活動に伴う環境配慮

CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み (CO₂ 排出量削減)

カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用によるCO₂の排出や物流によるCO₂の排出の削減を目的・目標に掲げ活動しています。

工場の海外進出により生産系事業所のCO₂排出量は京都議定書の基準年である1990年度に比べて45%削減されており、京都議定書の日本の目標値6%削減に対してカワイグループは大幅な削減を達成しています。なお、1990年当時の支社・営業所・音楽教室を含むCO₂排出量の推定を行なっており、この場合、1990年比約24%の削減と推定しております。

また、カワイグループの工場では、ピアノ製造の竜洋工場と金属加工のカワイ精密金属(株) 松本工場の2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定され、自主的にCO₂削減計画を策定し、CO₂削減に取り組んでいます。

CO₂ の吸収活動（植林活動）の推進

「森の中の緑の工房」竜洋工場

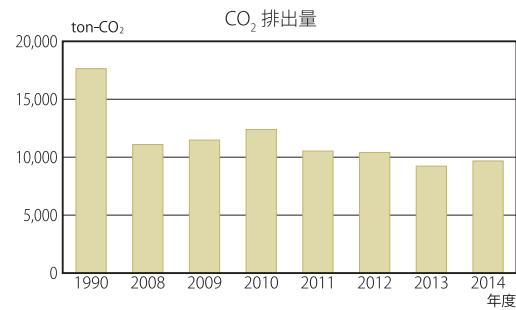
カワイは、1980年に「森の中の緑の工房」を目指して竜洋工場を建設しました。当初に工場周辺や構内に植えた約20,000本とその後の植樹により、現在では約26,000本の規模となりました。グランドを含めると工場敷地の約50%が緑地となっており、35年の歳月を経て「森の中の緑の工房」の名にふさわしい工場となりました。なお、2005年にはこの活動が評価され、緑化優良工場として(一財)日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。



「カワイの森」が西ジャワ州の地方紙に掲載されました

2015年1月8日にインドネシア森林公社とPT.カワイインドネシアとの2014年度分の植林に関する契約締結セレモニーと記念植樹を行いました。当日の活動は地方紙「FAKTA JABAR」で大きく取り上げられ、カワイの地球環境保全のための活動が西ジャワ州の皆さんに広く伝えられました。

この中で森林公社の現地責任者から、カワイは2007年から継続して土地の再生、温室効果ガス削減といったCSRプログラムに取り組んでおり、森林公社は将来的には植林活動以外でもカワイインドネシアと協力していくとの期待が述べられています。



オフィスにおいては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノーアップ」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を20°C以下に保つ「ウォームビズ」運動を開いています。

海外植林活動

2007年からインドネシアにおいて、CO₂吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、将来の木材資源の確保を目指してカワイグループ従業員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。

2012年度までの第1期に約250ha、植林本数約30万本、成育本数24万本の規模の植林を達成しました。

この植林により年間3,700トンのCO₂吸収効果があり、竜洋工場における生産活動にともなって発生する約3,700トンのCO₂を吸収する効果があると見込んでいます。



F-BISNIS





主な製品の環境負荷の評価と夏の節電活動

製品の環境負荷（LCA）

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出されるCO₂量及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出されるCO₂の量をカワイの主な製品のグランドピアノ（GX-3）について行なった結果は次のとおりです。

ピアノは、一般の電化製品、自動車と異なり製品の使用時に排出されるCO₂はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までのCO₂排出量が製品寿命の総CO₂排出量と考えることが出来ます。

LCA 評価方法

* LCA 算定には、社団法人 産業環境管理協会のライフサイクル

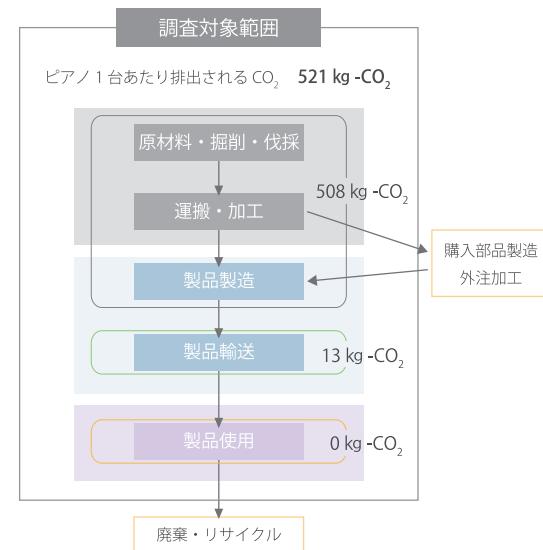
アセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。

* 製品の廃棄について

ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。

* 購入部品及び外注先での加工製造・輸送については含まれていません。

* 製品輸送は磐田市（竜洋工場）→東京間を用いています。



LCA : Life Cycle Assessment の略。

製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法。

夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。東日本大震災が発生した2011年度は、節電目標を前年比15%削減とし、カワイグループ全体の電力使用量の実績で11%の削減を達成しました。



2011 年



2012 年



2013 年



2014 年



資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物削減の取り組み

廃棄物の削減と徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し、活動しています。

2003年度には、大気汚染の防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に木屑ボイラーを廃止したため、それまで燃料としてサークルサイクルされていた木屑や木粉が廃棄物扱いとなつことにより、廃棄物排出量が大幅に増加しました。その後の歩留向上などの取り組みにより廃棄物排出量を削減してまいりました。

2013年度は外注工程の構内への引入れにともなう廃棄物の増加のため、産業廃棄物排出量は、前年比+0.6%と微増しましたが、2014年度は資源の効率的活用と廃棄物の有価物化などにより、前年比-7.5%と大幅に減少しました。

再資源化につきましては、木屑等は全て再資源化(製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用、他) しており、その他のフェルトなどは堆肥化するなど環境負荷の低減に役立つよう再資源化の取り組みを行なっています。その結果、再資源化率は、2012年度に前年の89.4%から96.0%に上昇しましたが、2014年度は94.4%(前年比-1.1%)でした。今後も廃棄物の再利用、再資源化を検討し、再資源化率の向上を目指します。

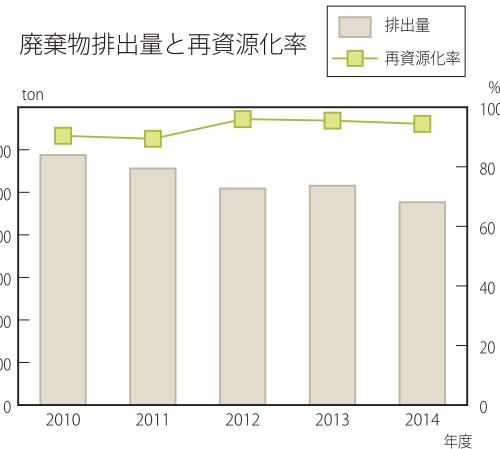
リサイクル・リユースの取り組み

生産者拡大責任を踏まえて、循環型社会のためのピアノの再生利用を推進するために(株)ピアノリサイクルを1998年に設立しました。現在では竜洋工場内のリサイクルグループが本事業を担当しています。

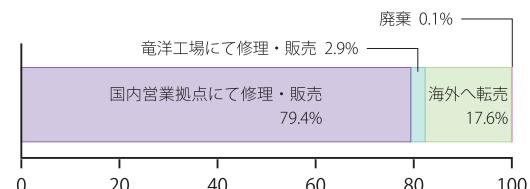
日本国内では各営業拠点においても、下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。2014年度には約1,600台のピアノが再生・リユースされました。そのうち約3割が輸出され世界各地で使われています。

メーカーによるピアノ再生

メーカーだから出来る仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることができます。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり80年を超える製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から大変好評をいただいているいます。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。



下取りしたピアノの再生リユース (2014年)





持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

次のようなライフサイクルにおける環境への配慮に関する事項を調達基準として考慮しています。

グリーン調達に関しては、このほかに調達基本方針や適用範囲、調達基準ガイドライン等を定めています。また、このガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定しています。

- ・環境汚染物質への配慮 / 省資源 / 省エネルギー
 - ・天然資源への配慮 / 長期使用性 / リユース可能性
 - ・リサイクル可能性 / 再生材料等の利用
 - ・処理処分の容易性

またサプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対し対応をお願いしています。

- ・環境マネジメントシステムを構築し運用していること
 - ・省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること
 - ・梱包材についても環境に配慮していること
 - ・環境情報を積極的に公開していること

廃棄物削減の取り組み

<p>カワイ本体説明ガイド</p>  <p>カワイ本体説明ガイド</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器の構造や各部の名前、音色の特徴などを詳しく解説するガイドです。また、楽器の構造や操作方法についても、簡単な図解とともにわかりやすく説明されています。</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器を購入された方や、楽器の操作法を学ぶ方にとって非常に有用な情報が詰め込まれています。</p>	<p>カワイ本体説明ガイド</p>  <p>カワイ本体説明ガイド</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器の構造や各部の名前、音色の特徴などを詳しく解説するガイドです。また、楽器の構造や操作方法についても、簡単な図解とともにわかりやすく説明されています。</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器を購入された方や、楽器の操作法を学ぶ方にとって非常に有用な情報が詰め込まれています。</p>
<p>カワイ本体説明ガイド</p>  <p>カワイ本体説明ガイド</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器の構造や各部の名前、音色の特徴などを詳しく解説するガイドです。また、楽器の構造や操作方法についても、簡単な図解とともにわかりやすく説明されています。</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器を購入された方や、楽器の操作法を学ぶ方にとって非常に有用な情報が詰め込まれています。</p>	<p>カワイ本体説明ガイド</p>  <p>カワイ本体説明ガイド</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器の構造や各部の名前、音色の特徴などを詳しく解説するガイドです。また、楽器の構造や操作方法についても、簡単な図解とともにわかりやすく説明されています。</p> <p>カワイ本体説明ガイドは、楽器を購入された方や、楽器の操作法を学ぶ方にとって非常に有用な情報が詰め込まれています。</p>



スプルース(マツ科トウヒ属)の断面
ピアノ響板に使用、樹齢250~260年

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選されたアラスカのスプルースが使われます。樹齢150～400年、高さが60mにも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上6～20mの部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質、貴重な木材を多く使用する楽器メーカーとして、木材を生み出す森林の保全、保護、育成は特に重要と考え生物多様性の保全に配慮して木材のグリーン調達に取り組んでいます。

木材調達ガイドライン（2006年6月開示）

2006年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。



環境配慮型製品

環境に配慮したピアノ

ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵

ピアノの鍵盤の素材は、白鍵には象牙、黒鍵には黒檀が最良とされ、古くから使われてきました。

しかし1980年代に入ると野生動植物の保護意識が世界的に高まり、代替素材が求められるようになりました。カワイは他に先駆けて、植物性樹脂を主原料とする、まったく新しい独自の鍵盤素材を1988年に開発しました。それが、数々の優れた特長、機能を持つ“ファインアイボリー”(人工象牙)と“ファインエボニー”(人工黒檀)です。ピアニストからの評価は時とともに高まり、現在では新時代の鍵盤素材として高い評価が定着しています。



伝統と革新の融合から生まれた、
グランドピアノの新・世界基準「GXシリーズ」

ビギナーからプロのピアニストまで幅広い音楽ニーズに的確に応え続け、多くのユーザーから愛用されています。Shigeru Kawaiシリーズに採用した新技術を惜しみなく注ぎ込み、究極のスタンダードを目指して1クラス上のタッチと音を実現したグランドピアノです。



業界ではじめて鍵盤鉛を廃止したアップライトピアノ「Kシリーズ」

(2014年2月16日発売)

新Kシリーズは、コントロール性を高め、演奏表現の幅が広がる長尺鍵盤やこれまで以上に豊かな音量と音の伸びを実現した新設計響板、より安定した響きをもたらすことが可能となる高剛性ボディ等、Shigeru KawaiやGXシリーズなどのグランドピアノで培った設計思想をふんだんに盛り込み開発しました。

Kシリーズでは従来から鍵盤に埋め込む錨に鉛を廃止し、リサイクルが容易な鉄を採用しております。鍵盤への固定が難しい鉄の使用はカワイのすぐれた金属加工技術によって生まれた形状(特許出願中)や、埋め込む位置の工夫など、独自の新技術により可能になりました。また、鉛より比重が軽い鉄を使用したにもかかわらず、金属の量を減らすことにも成功しました。



**K
SERIES**

K-400

環境配慮型アコースティックピアノ

(2014年7月4日発売)

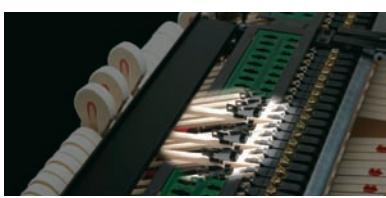
ANYTIME X2



消音ピアノ「ANYTIME X (エニタイム エックス)」シリーズの新製品「ANYTIME X2」を発売しました。「ANYTIME X」シリーズは、夜間など音を出せないときに、デジタル音源に切り替えて演奏を楽しむことができるピアノです。



「ANYTIME X2」はタッチ感を向上させたハンマー検出型センサー「インテグレーテッドハンマーセンシングシステム(IHSS)」をはじめ、響板スピーカーシステムやスライド式スイッチパネル、最新型デジタル音源の搭載など、消音ピアノの枠を超えたハイブリッドピアノとしてさらに進化しました。



インテグレーテッドハンマーセンシングシステム
(IHSS)



響板スピーカーシステム



環境に配慮したデジタルピアノ

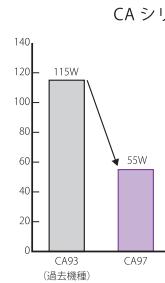
省電力型デジタルピアノ CA シリーズ、CN シリーズ

2014年、2015年に発売された省電力型デジタルピアノは、デジタルアンプの採用など、システム全体を見直すことにより『CA97』では約50%、『CA67』は約45%、『CN25』は約60%、『CN35』は約35%(いずれも当社過去機種比)の省電力化を実現しました。オートパワーオフ機能も搭載したことによる省エネをも実現した環境に優しいデジタルピアノです。

目指したのはグランドピアノの性能

Concert Artist シリーズ『CA97』『CA67』

"Concert Artist"シリーズは、その名のとおりアーティストが使用するコンサートグランドピアノを目標として開発したカワイデジタルピアノのトップブランドです。



表現力を大幅に向上したデジタルピアノ

『CN35』『CN25』

入門者向けのデジタルピアノ「CNシリーズ」は、ピアノとしての充実した基本性能を兼ね備えながらも、お求めやすい価格を実現しました。



オートパワーオフ機能搭載デジタルピアノ LS1

2013年11月に発売されたコンパクトでスリムな電子ピアノLS1は、何も動作していない状態が一定時間続いたときに、自動で電源を切れるオートパワーオフ機能を内蔵しています。

DIGITAL PIANO **LS1**

モダンインテリアに映える、フルフラット&コンパクト



鍵盤蓋を閉じれば、フルフラットになるLS1。そのフォルムはひとつのインテリアとして完成されています。奥行き31cmのコンパクトボディで、場所を選ばず高品質なピアノを楽しむことができます。



LS1 - プレミアムローズウッド調

デジタルピアノ「CNシリーズ」がMMR 2014、Music Inc 2014の2つの賞を受賞

米国の楽器販売店の投票により選ばれる賞として、大手楽器業界紙MMRが主催するMMR 2014 "HomeDigital Keyboard of the Year"、およびMusic Incが主催するMusic Inc 2014 "Product Excellence Award"の2つの賞を、カワイのCNシリーズが受賞しました。

見る目が厳しい米国の販売店から選ばれたことは、グランドピアノの感触を再現するために搭載された多くの技術のクオリティーの高さを証明しています。





環境に配慮した防音室

カワイ防音ルーム「ナサール ユニットタイプ」

カワイ防音ルーム「ナサール ユニットタイプ」には、小型サイズに対応した「ライトタイプ」、ピアノ用途に適した「スタンダードタイプ」、オーダー感覚で10畳サイズまで対応可能な「カスタムタイプ」の3種類があります。

いずれもパネル工法で組立が簡単な防音ルームで、引越し等で移設が必要な場合も廃材等が発生せずに解体再組立てができる、リユース可能な防音ルームです。



ユニット・カスタムタイプ(3畳サイズ)
MHCX18-26Hi (テラスサッシ付)

遮音性能はそのままに軽量化を実現。

ユニット・ライトタイプ L K S Xシリーズ

(2015年5月28日発売)

管・弦楽器や声楽向けの小型サイズにも対応した「ユニット・ライトタイプ」に、遮音性能を向上させた新製品「L K S Xシリーズ」(遮音性能:Dr-40)を追加発売しました。使用部材の見直し等により、従来の同遮音性能の製品に比べ約10kgの軽量化を実現しました。(当社比2畳サイズ)



ユニット・ライトタイプ(1.5畳サイズ)
LKSX13-18

NEW

L K S Xシリーズ(単体遮音性能:Dr-40)の特長



<お問い合わせ> 株式会社 カワイ音響システム

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町358
tel:053(489)7601 fax:053(489)7608 www.kawai-os.co.jp/



環境パフォーマンス

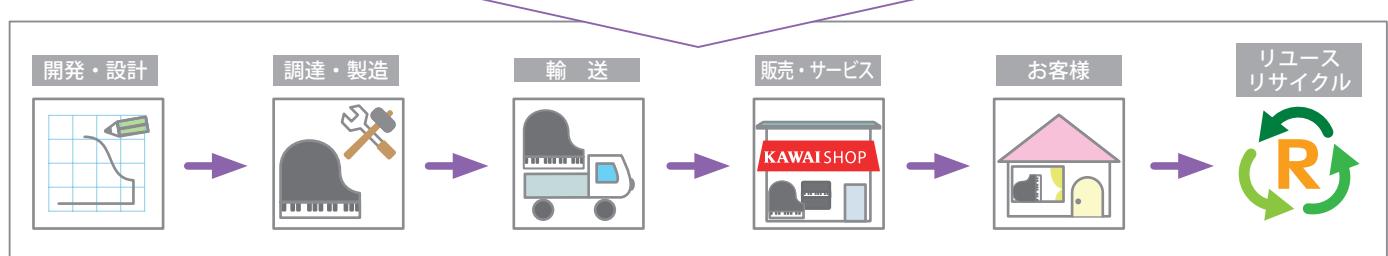
企業活動による環境負荷を数値で把握することが
環境活動の第一歩と考えています

マテリアルバランス

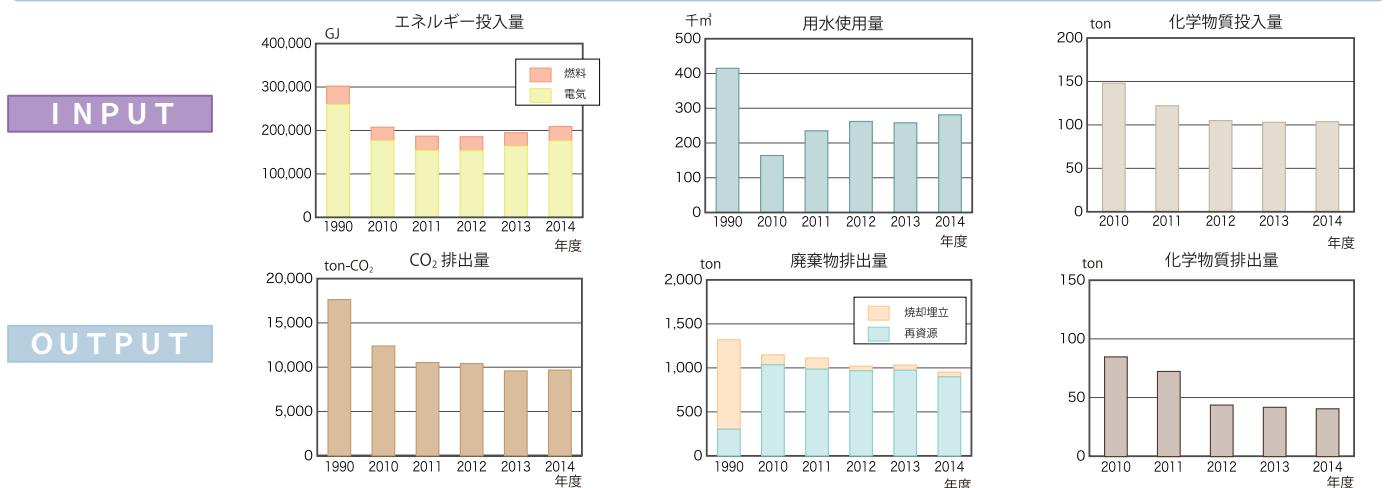
カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行なっております。

2014年度におけるエネルギー、化学物質、資源などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後もデータ把握の対象を広げ環境負荷の低減に取り組みます。

INPUT		エネルギー (GJ)			
エネルギー (GJ)		エネルギー (GJ)			
総 計	209,141	電力	0		
電力	176,330	ピアノの演奏は人力のため、使用段階でのエネルギーは0と評価しました。			
A重油	10,477	また、電子ピアノ・オルガンについては演奏時間等の設定が困難なため、対象から外しました。			
LPG	18,892				
灯油	3,442				
水 (千m ³)		化学物質 (ton)			
総 計	281	104			
井水	99				
水道水	125				
工業用水	57				
容器包装 (kg)		燃料 (GJ)			
紙	5,080	ガソリン	616		
プラスチック	6,793	軽油	2,588		



OUTPUT		温室効果ガス (ton-CO ₂)			
温室効果ガス (ton-CO ₂)		CO ₂			
CO ₂	9,676	225			
排水 (千m ³)		廃棄物 (ton)			
化学物質 (ton)		総排出量	953		
排出量	42	焼却・埋立	55		
移動量	6	再資源化	898		
容器包装 (kg)		温室効果ガス (ton-CO ₂)			
		CO ₂	351		
温室効果ガス (ton-CO ₂)		CO ₂			
		0			
アコースティックピアノの使用段階における排出は0と推定しました。 また、電子楽器についてはINPUT同様の考え方から対象から外しました。					



社会性報告 経営計画



第4次中期経営計画（2013年度～2015年度）の概要

第4次中期経営計画

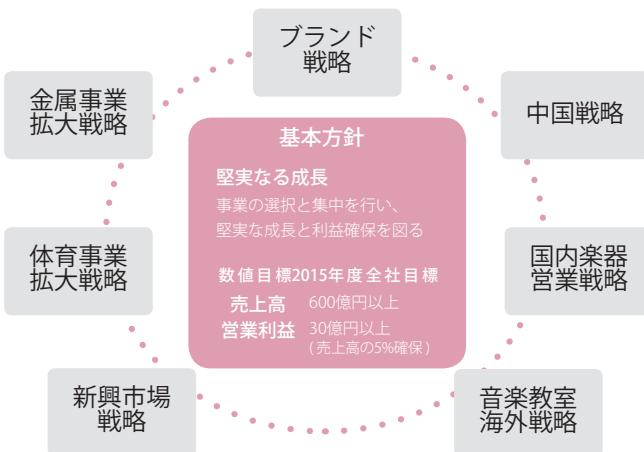
2013年4月よりスタートさせた第4次中期経営計画について、2年目となる2014年度は売上高については初年度より増加しましたが、利益については減少となりました。引き続き、さらなる成長戦略を描くとともに持続的成長のための構造改革の諸施策を遂行してまいります。

将来ビジョン

世界の音楽文化創造の担い手としての責任と誇りを持ち、堅実な成長と発展を目指す

- グローバルブランドを確立する
- お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る
- 音楽文化の普及に貢献する
- 収益性を高め継続的な発展を目指す

基本方針と成長戦略



ブランド戦略～グローバルブランドの確立～

- Shigeru Kawaiへの重点投資
- 音楽文化の普及への貢献

中国戦略～中国市場で三位一体体制を確立～

- カワイ専門店を都市部を中心に展開
- 音楽教室の本格展開
- アフターサービス網の構築
- 主要音楽大学との連携によるカワイブランドの定着

国内楽器営業戦略～国内市場の効率的販売体制の構築～

- 販売体制再編と強化
- 市場ニーズに即した魅力ある教室展開
- 新しい営業スタイルの導入

音楽教室海外戦略～カワイ音楽教室をアジアで本格展開～

- インドネシアに直営教室を開設
- インドネシアのビジネスモデルをアジア各国に展開

新興市場戦略～市場に即した販売活動を展開～

- モスクワに販売会社を設立
- 中南米市場の拡大開拓
- 世界戦略モデルを投入

体育事業拡大戦略～体育教室の多角的展開～

- 教室事業の拡大
- 健康増進事業の拡大

金属事業拡大戦略～CVT向け材料加工分野で世界No.1へ～

- CVT向け受注の拡大
- 生産体制の強化
- 半導体・CVTに次ぐ第3の柱の構築



http://www2.kawai.co.jp/ir/setsumei_pdf/2013/20130328_2014chukei.pdf



継続的に企業価値を高めていくには コーポレート・ガバナンスの充実が最も重要な経営課題と捉えています

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社は、継続的に企業価値を高めていくうえで、コーポレート・ガバナンスの充実を最も重要な経営課題としてとらえており、そのためには株主・投資家の皆様、お客様、取引先、地域社会、従業員等の当社を取り巻く様々なステークホルダーから信頼される経営姿勢が重要であると考えております。

その実現に向け、当社では株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、経営体制の改革、内部統制システムやコンプライアンス体制の整備等の様々な方策を実現させるとともに、タイムリーな情報開示により公正で透明性の高い経営体制の実現を目指しております。

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このような事からカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。

具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含したカワイ倫理規範、倫理行動規準を制定するとともに、外部有識者(弁護士)を加えた企業倫理委員会を設置しております。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めしております。

内部統制システムに関する基本的な考え方

当社では「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

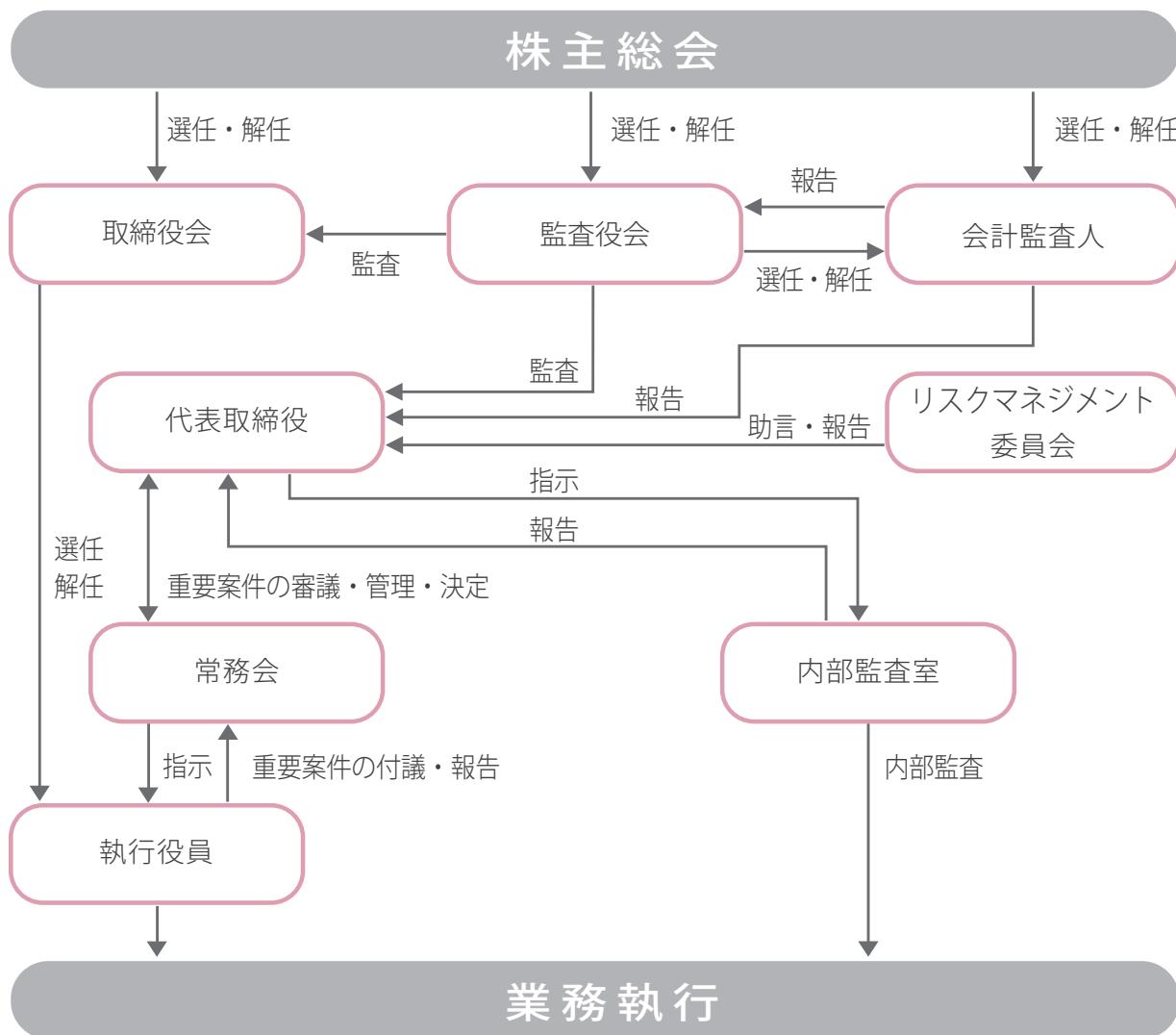
内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでおります。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めています。



コーポレート・ガバナンス 体制 / 内部統制システム



- ・取締役会：社外取締役を含む取締役で構成
- ・監査役会：社外監査役を含む監査役で構成
- ・2002年4月より執行役員制度を採用
- ・2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を選任しており、社外取締役には、客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めております。

- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。

リスク管理体制

当社のリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めています。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取締役会に報告しております。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしております。

リスクマネジメント委員会

地球環境委員会	企業倫理委員会
<p>カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン、木材調達ガイドライン等を制定。また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。</p>	<p>コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範をも包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動規準を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。</p>
<h3>海外安全対策委員会</h3> <p>海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。</p>	<pre> graph TD A[企業倫理委員会・企業倫理ホットラインの流れ] --> B[違反行為等の情報・相談 企業倫理室長 経由 企業倫理委員長 宛] B --> C[郵送書 ● 調査の為実名を原則] C --> D[企業倫理室] D --> E[結果のフィードバック] E --> F[人事担当部門] F --> G[懲戒処分の検討を要請] G --> H[企業倫理委員会] H --> I[調査チーム] I --> J[調査] J --> K[関係部署 (支社・工場) (部・会社)] K --> L[違反中止の勧告・命令] L --> M[指示] M --> D </pre> <p>The flowchart illustrates the process for handling ethics-related issues. It starts with reporting violations or consulting with the Ethics Committee via mail (with the principle of using real names). The information goes to the Ethics Office, which then provides feedback. This feedback leads to the Human Resources Department, which handles disciplinary actions. The Ethics Committee oversees this process, receives reports from the investigation team, and provides instructions to the investigation team. The investigation team then performs the investigation and reports back to the Ethics Committee, which in turn provides guidance to the relevant department (such as a branch or factory) to stop the violation.</p>
<h3>中央防災対策委員会</h3> <p>カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。</p>	
<h3>中央安全衛生委員会</h3> <p>カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。</p>	
<h3>情報セキュリティ委員会</h3> <p>情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。</p>	<h3>製品安全対策委員会</h3> <p>万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があると判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。</p>



株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様への I R 活動に取り組んでいます

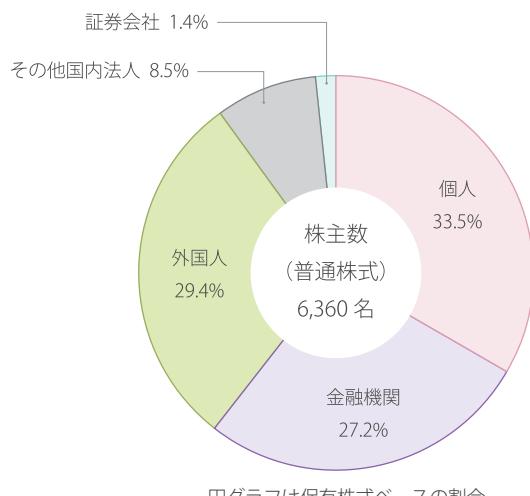
決算説明会

2015年5月28日、東京 日本証券アナリスト協会にて、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催いたしました。連結業績の概要を説明するとともに、2013年4月より始まっている第4次中期経営計画の進捗についての説明を行い、今期及び来期のカワイの事業展開について、ご理解いただきました。

同説明会で使用した資料は、ウェブサイトにて公開しております。



株式の発行状況と所有者別状況（2015年3月31日現在）



発行可能株式総数	普通株式	34 百万株
発行済株式総数	普通株式	8 百万株

定時株主総会

2015年6月25日、カワイ本社にて第88期定時株主総会を開催いたしました。事業報告においてはプロジェクトとナレーションによる説明を採用し、カワイの業績や事業展開についてはグラフや写真を用いて、株主の皆様にとってわかりやすい説明に努めました。

事業報告書

株主の皆様には、事業報告書を年2回お送りしています。直近の財務情報に加え、トップのコミットメントや当期のトピックス、会社概況などをお伝えしています。なお、事業報告書の資料はウェブサイトにて公開しております。



<http://www.kawai.co.jp/ir/jigyo/>

I R サイト

ステークホルダーの皆様にカワイの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動（I R活動）の手段としてカワイウェブサイトにI Rサイトを開設しています。

<http://www.kawai.co.jp/ir/>

I R : Investor Relations の略。
企業による投資家向けの情報提供などの広報活動。



お客様との関係

文化貢献活動

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。これからも“Music for All”的理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。

多彩なコンサート情報を掲載しているカワイ音楽振興会サイトをご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>

The screenshot shows the homepage of the Kawai Music Foundation website. It features a banner for the 'Kawai Concert 2015' in Tokyo. Below the banner, there's a section for 'Events' (イベント) with a photo of two women. To the right is a 'Calendar' (カレンダー) for June 2015, showing various dates and events. Further down, there's a section for 'Sho-Pan Festival' (ショパン・フェスティバル) and another for 'Kawai Concert 2015'. At the bottom, there are links to their Facebook and Twitter pages, and a link to their 'Public Lecture Series' (公開講座シリーズ).

カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をという理念のもとにスタートしたカワイコンサートは、発足以来これまでに2,200回を超える公演を全国各地で行なってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いて、皆様に良い音楽との触れ合いを楽しんでいただいているです。

このカワイコンサートの過去から直近の情報につきましては、カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。



ヨーロッパ・カワイコンサート

1976年設立のカワイドイチュランドGmbHを経て1979年に設立されたカワイヨーロッパGmbHは、欧州におけるカワイの重要な拠点になっています。1990年にデュッセルドルフから北西方向25kmのクレフェルト市に移転して以来、1991年に始まったヨーロッパ・カワイコンサートはクレフェルト市「カンプスホール」で行われています。

これまでに220回以上のコンサートを開催しております。また、著名ピアニストを招聘してピアノマスタークラスを主催するなど、様々な文化事業を行なってきました。浜松市とクレフェルト市との文化交流においても支援を行っております。



ヨーロッパ・カワイコンサート（クレフェルト市 カンプスホール）



カワイ音楽振興会の支援活動

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念して設立されました。初代会長は高折宮次先生で、高折先生と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降毎年のショパン・フェスティバルin 表参道、などを開催。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、活発な活動を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>



クロイツァー記念会への支援

ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により1962年3月に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クロイツァー教授の日本樂界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」のほか、ゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞金を贈呈しています。

またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クロイツァー版楽譜（音楽之友社刊）の出版に協力しております。

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長故芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足。その後、ソ連の崩壊により「日本・ロシア音楽家協会」と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入る。ロシアとの文化交流コンサートを開催すると同時に、声楽・器楽のコンサートや公開レッスン、公開講座、シンポジウムなど開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>



ラフマニノフ

日本シマノフスキ協会への支援

カロル・シマノフスキは、ショパンとともにポーランドを代表する作曲家です。1981年、シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。シマノフスキは、ポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生みだしたことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、公開講座、例会等のコンサートを開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>





人間の本来のあるべき姿、人間的豊かさの育みを第一に考える カワイの教育事業は各種教室事業や教育者育成事業を展開しています

教育事業



カワイ音楽教室



当社が運営するカワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年(昭和31年)に第1号教室を開設、以来50年にわたり、音楽教育を通じて多数の音楽愛好者を育成し、現在では日本全国に4,000を超える直営の教室を運営しています。レッスンコースは、1歳児を対象とした「クーちゃんランド」に始まり「おとなのミュージックスクール」まで、年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定されています。



カワイ音楽教室では、「個」そしてその「表現」を大切にします

カワイ音楽教室は、創立以来「音楽を身につける過程で、個々の持つ様々な能力や可能性が見いだされ、発揮されること」「音楽を学ぶことでこそ得られる人格的なふくよかさや、奥深く幅広い豊かな人格形成を求めるここと」「技術的な進歩だけに偏らない、真に芸術的な感性と人間的魅力に溢れた新しい日本の文化人を育成すること」等を中心的目標として掲げ、50年間に渡って、日本中に音楽芸術を愛好する多くの豊かな人々を育ててまいりました。

これらカワイ音楽教室が掲げてきた創立当初からの理念は、現在の日本が改めて見直しあげている、「人間教育」の根本的な礎となる「人間のあるべき姿」への一貫した思想です。

カワイミュージックスクール



中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、ドラム、ボーカルなど、40種以上に及ぶ大人のための音楽教室を運営しています。いずれも自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講でき、またレッスンの回数や形式が選択できるなど、個性に合ったレッスンが受けられることから、多くの受講者を集めています。



カワイ英語教室



カワイ英語教室は、ゲームやアクションを通して、子どもたちが楽しみながら「生きた英語」を身に付けます。そしてコミュニケーションの手段としての英語を通して自分を伝えたい、相手を知りたいという心を満たし、豊かな人間性を育みます。

カワイ絵画造形教室



カワイ絵画造形教室は、豊富な素材をふんだんに使ったさまざまな造形表現活動を通して、子どもたちが創造力や人間らしい心を育みながら「生きる力」を身につけていくことを目指しています。



心とからだのハーモニーをモットーに全年齢層の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。カワイ体育教室開設以来45年のキャリアを持つカワイならではのノウハウを生かし子どもから、大人、高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートしています。



体育コース

子どもの遊びは、からだの面、こころの面、知的な面を育てるため大切なものであります。しかし近年、遊びの中で知恵を出し合ったり、感情をぶつけ合う機会が減少していると言われます。カワイ体育教室はこのような子どもたちが、のびのびとからだを動かして遊ぶための環境づくりをサポートいたします。



スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。



特定保健指導の支援

厚生労働省が医療費削減対策として特定保健指導を義務化する中で、国のプログラムに合わせた支援を行っています。



介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿って運動器の機能向上を支援します。介護予防運動指導員養成セミナーを行い、指導者の育成を行っています。介護保険法の改訂により多くの市町村で地域支援事業として介護予防への取り組みが強化されています。カワイは1次予防や2次予防を対象とした介護予防事業の支援をいたします。また、認知機能低下予防にも注目し活動しております。

カワイネットシステム

ネットパル

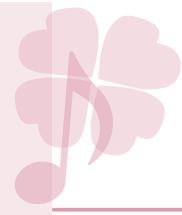
体育教室と家庭をモバイルを使ってリアルタイムに結び「危機管理体制の充実」「運動の習慣化（生徒の日常の運動をサポート）」「家族の健康づくり」を実現します。

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理をサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。

カワイの認知症予防プログラム ~運動・音楽・脳げんき~





スポーツコミュニティ

カワイ体育教室はトップアスリートと交流する場を提供する「スポーツコミュニティ」を展開しています。

カワイ体育教室では、全年齢の健康を考える『総合健康産業』として、子どもから大人・高齢者までさまざまなステージでの健康づくりに関わっています。これまで、カワイ体育教室に参加する生徒を対象とした活動が中心でしたが、今後は多くの子どもたちにトップアスリートの生の声や演技を伝えることで運動への興味関心とスポーツへの参加意欲を高め、運動習慣を獲得して生涯スポーツへとつなげる活動を展開していきます。将来的には、公的な施設等にも活動の場を広げ、より多くの子どもたちがトップアスリートと接する機会がもてるよう展開していきます。



<カワイ体育教室 スタッフ紹介>

チーフアドバイザー 水鳥 寿思 さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストで、2012年5月に現役を引退し、カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラス
チーフインストラクター 川本 ゆかり さん

1992年バルセロナオリンピック出場。2009年よりカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。



カワイカップ

器械体操・新体操・サッカーの全国大会です。年に一度全国の仲間とコミュニケーションを図り、楽しくしかし真剣に子どもたちが自分の実力を試す場となっています。





コミュニケーション

地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

地域社会との共生

工場見学の受け入れ

<竜洋工場>

竜洋工場ではカワイピアノに親しんでいただくために、地域の小学生・中学生・高校生や次世代の音楽文化を担う学生さんたち、その他多くの皆様の工場見学を受け入れています。組立からピアノが完成するまでの仕上げ工程をご覧いただくことができます。

2014年度の見学者数は2,147名でした。見学後、小学生をはじめ、多くの方々から見学のお礼に沢山の温かい感想のお手紙をいただきました。特に印象的だったのは、ピアノ製作の過程において多くの人の手が加わり、職人さんの確かな技術と繊細な手作業を目の当たりにしても感動しましたという嬉しい感想をいただきました。

[工場のご見学に関するお問い合わせ] 竜洋工場 業務室 静岡県磐田市飛平松252
TEL.0538-66-5111 FAX.0538-66-5919



見学者から届いたお手紙（竜洋工場）

<（株）カワイハイパーウッド>

カワイハイパーウッドでは近隣の小学生の工場見学会(中郡探検隊)および中学生には職場体験会を行いました。車の部品製造工程や塗装工程の見学会・体験会を通して、“仕事の大変さ、お金を稼ぐことの大変さがわかり、両親に感謝したい”という感想もいただきました。ロボットにも興味を持たれ、また工場見学をしたいという嬉しい感想をいただきました。



近隣小学生の工場見学
(中郡探検隊)



見学者、職業体験会参加者からの
お手紙（カワイハイパーウッド）

エコキャップ運動

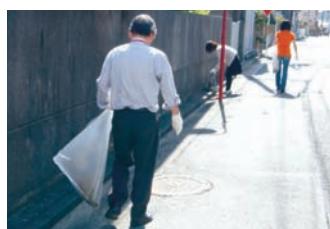
2008年よりエコキャップ収集活動を行っており、ポリオワクチン等の提供に貢献して参りましたが、2015年度年度は収集したペットボトルキャップを社会福祉法人天竜厚生会様へ持ち込み、キャップの分別、異物・シール除去作業、粉碎作業等による障害者の方の自立のお手伝いに貢献するよう取り組んでいます。また、キャップの再生プラスティック化によるCO₂の削減に貢献しております。（本社総務人事部総務課）



キャップ分別、異物・シール除去作業の様子
(社会福祉法人天竜厚生会様)

環境美化・保全活動

地域社会とのつながりを大切にしたいと考え、環境方針に基づいた環境活動として敷地内のみならず、事務所周辺の主要道路の清掃活動などを通じて地域の美化・環境保全に積極的に取組んでいます。



本社



河合楽器（寧波）



羽咋市海岸清掃活動
カワイキャスティング



工場団地内清掃活動
カワイ精密金属 松田工場



竜洋工場



各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

地域社会との交流

PT. カワイインドネシア

従業員のコミュニケーション

カラワン工業団地(呼称:KII)のスポーツ大会に従業員が多数参加し、2014年度は総合優勝を獲得しました。



バレーボールは男女とも優勝



ファミリーデイ



日本とインドネシアの友好とインドネシアの長寿社会実現を目的とした、ジャカルタ「絆」駅伝にも日本人とインドネシア人の従業員の混合チームにより参加しました。(2015年5月)

← PT. カワイインドネシアの参加メンバー

河合楽器(寧波)有限公司



全員の親睦を深める為、バーベキュー大会を実施し、各班ごとに料理の腕前を競いました。各組より一品、自慢の料理を出して貰い、審査員が、評価しました。

女性ピアノ調律師、初の欧州への留学研修へ

1989年に始まった有望な若手のピアノ調律師の育成を目的に欧洲への留学研修に、神奈川営業所所属の坂本裕美さんが女性として初めての本格的な派遣をされました。

この制度はMPA(*)取得を目指す登竜門の位置付けで、ドイツの販売代理店を拠点に欧洲各国の顧客を訪問する他コンサート調律師の仕事も任されます。ドイツには2015年1月9日に出発をして1年間の留学研修を通じ将来はコンサートチュナーとして海外でも活躍することを目標に掲げています。

* MPA:Master Piano Artisan

(マスター・ピアノ・アーティザン:社内資格)



(株)カワイハイパーウッド

カワイハイパーウッドでは、毎年、地元住民の皆様と社員との“ふれあい”を目的として、工場内の特設会場でコンサートを開催しています。2014年で9回目を迎えました。第1部は片田愛理さんによるピアノ演奏でショパン、シューマン、ドビュッシーなどのおなじみの曲をご本人による解説をはさみながら弾いていただきました。第2部は鈴木麻美さん(vo)、藤森潤一さん(pf)のデュオ「Jazz Dialogue」。軽快なスタンダードナンバーからしっとりとしたバラードまで抒情たっぷりに歌い上げていただきました。第3部では恒例の中郡中学校・プラスバンド部1・2年生の皆さんによる初々しい演奏を楽しみました。

当日は周辺地域でのお祭りや浜松駅周辺の音楽イベントと重なったこともあって、集客を心配しておりましたが、多くの方々が来場いただきできました。皆様からお預かりした善意の募金は石巻市吉田保育園にデジタルピアノを寄贈いたしました。



岩手県釜石高校へのピアノ寄贈活動に協力

関西支社では、朝日新聞大阪本社が2014年11月に主催した音楽イベント「中之島まるごとフェスティバル」を通じて、東日本大震災へのピアノ寄贈活動に協力しました。

地元高校生のイベントや趣旨に賛同したカワイ独自企画の社員コンサートなどで集まった約91万円の募金で、仙台市の「被災地へピアノを届ける会」がグランドピアノGX-3を購入、釜石高校に寄贈されました。



「中之島まるごとフェスティバル」への参加風景



岩手県釜石高校へ寄贈されたグランドピアノGX-3



お客様に愛され、親しまれるカワイを目指して

情報発信

CS(顧客満足)への取り組み

〈お客様相談室〉

楽器購入前のご相談、購入後の楽器のご使用方法に関するご相談等、お客様から寄せられる様々なご質問に誠実で迅速な対応を行なうべく、お客様相談室で受付を行っております。音楽を愛する専門スタッフが皆様にとってかけがえのないパートナーを目指してサービスに努めております。

お客様相談室 TEL:053-457-1311

受付時間：月曜日から金曜日までの 9:00～12:00、13:00～17:00

〈お客様サポートサイト〉

カワイお客様サポートサイトでは、ピアノの修理や調律、各種製品の修理、関連楽譜の購入などのアフターサービス、カタログや取扱い説明書、プログラム更新等の各種データのダウンロード、カワイピアノ、デジタルピアノ等のカタログ請求や試弾のご予約、見積依頼のためのサポートサイトをホームページ上に設けてサービスに努めております。

<http://www.kawai.jp/support/>



アフターサービスの実施

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。

これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をとともに受けてしまうのです。ピアノの大部分を占める木材やハンマーのフェルトは常に呼吸をしている、まさに“生命体”であり、ピアノは大変デリケートなメカニズムを持つ楽器でもあります。

そこで私達が健康管理をするようにピアノにも“調律”という名のメディカルチェックが必要なのです。カワイの調律師たちは厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

世界有数のアフターサービス網

約230名の調律師が直営ネットワーク（日本全国108拠点）に配置され、全国津々浦々のお客様の大切なピアノのアフターサービスに従事しています。全てカワイの社員です。入社後も、数々の技術研修制度により技術の研鑽に努め、お客様のご希望にお応えします。さらに、コンサート会場でのピアノ調律を担当するMPA*は、国内外のコンクールやコンサートの場面でアーティストのハイレベルなご要望にもお応えしております。

* MPA:Master Piano Artisan(マスター・ピアノ・アーティザン:社内資格)

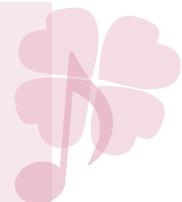
(調律担当部門) 国内営業本部 営業戦略部 TEL:053-457-1256



ピアノメンテナンスを通じた社会貢献

カワイは、ピアノの調律の啓発や技術の向上を目的とした団体である(一社)日本ピアノ調律師協会（通称ニッピ）の主旨に賛同し、その活動に協力しています。

日本ピアノ調律師協会は、ピアノを国民の芸術的財産として位置づけ、その運営管理を行なうことにより社会道徳的要請に応えるべく、会員資質の向上、調律技術者の社会的信用の維持向上に取り組んでいます。カワイでは調律技術者のほとんどがニッピの会員です。



環境社会報告書のウェブサイトによる開示

カワイのウェブサイトのトップページの「会社情報」から、「環境への取り組み」に進んでいただきますと、過去の環境社会報告書もご覧いただけます。

<http://www.kawai.co.jp/csr/>

The screenshot shows the Kawai CSR page. At the top, there's a navigation bar with links for '企業情報' (Corporate Information), 'ブランド' (Brand), 'CSR' (selected), 'ニュース' (News), 'IR情報' (IR Information), and '採用情報' (Recruitment Information). Below the navigation is a banner with a blue gradient background and green grass at the bottom, featuring the Kawai logo. A sub-navigation menu 'ホーム > CSR' is visible. The main content area is titled 'CSR' and includes a section '環境への取り組み' (Environmental Initiatives) with four sub-sections: '環境社会報告書' (Environmental Social Report), '認証取得事業所一覧' (List of certified factories), 'カワイの森' (Kawai Forest), and '地球環境憲草について' (About the Earth Environment Charter). Each sub-section has a small thumbnail image and a brief description.

環境社会報告書の継続的発行

カワイでは2001年より毎年、「環境報告書」を発行し、2004年からは社会的側面についても記載し、「環境社会報告書」を発行しています。

多くの皆様に持続可能な社会の実現に向けたカワイの活動を知っていただくよう今後も情報提供を続けてまいります。



2011年



2012年



2013年



2014年



2015年



資料編

環境負荷サイト別一覧

参考 基準年
1990 2010 2011 2012 2013 2014 基準年比

竜洋工場 静岡県磐田市 (旧舞阪工場を含む) 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218m ²	INPUT	電気	GJ	101,341	58,134	56,822	58,667	58,564	57,599	-1.8%
		燃料	GJ	28,253	18,688	17,354	17,220	16,047	18,352	6.6%
		水	千m ³	3,330	39.0	38.5	37.0	38.0	33.5	-9.4%
		化学物質	ton		42.6	35.7	39.0	34.4	32.8	-15.9%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	3,973	3,819	3,894	3,806	3,590	-7.8%
		化学物質	ton	0	11.2	6.6	8.8	5.4	5.1	-42.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	33.7	24.7	7.8	9.2	6.3	-20.0%
		廃棄物 再資源化	ton	102	826	810.7	730.6	767.0	697.9	-4.5%

(株)カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中郡町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074m ²	INPUT	電気	GJ	14,787	14,307	15,822	16,306	15,674	14,759	-9.5%
		燃料	GJ	11	3,778	4,652	4,548	3,319	3,584	-21.2%
		水	千m ³	28.6	5.2	5.8	6.6	6.2	4.4	-33.5%
		化学物質	ton		23.4	20.7	24.3	22.0	20.3	-16.5%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	921	1,052	1,066	950	927	-13.0%
		化学物質	ton		4.3	0.6	0.8	0.7	0.6	-25.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	36.2	55.1	0.2	0.0	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	31.9	57.8	144.1	127.1	119.7	-16.9%

メルヘン楽器(株) 静岡県周智郡森町 事業内容：電子楽器製造 敷地面積：11,583m ²	INPUT	電気	GJ	3,914	2,201	847	908	1,143	1,203	32.5%
		燃料	GJ	74.7	8	1.2	0.8	0.9	0.9	12.5%
		水	千m ³	0.6	1.9	0.8	0.7	1.0	1.0	47.6%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	223	101	39	41	52	55	32.5%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton	7.3	0.0	1.6	1.0	0.4	0.8	-20.0%
		廃棄物 再資源化	ton	0	59.9	11.2	2.0	4.2	1.3	-35.7%

(株)カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972m ²	INPUT	電気	GJ		1,125	955	943	990	958	1.6%
		燃料	GJ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		水	千m ³	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	51	44	43	45	44	44	1.6%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton	2.4	2.8	3.1	4.6	5.1	5.1	67.4%

カワイ精密金属(株)浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817m ²	INPUT	電気	GJ		38,968	34,651	35,556	44,160	53,432	50.3%
		燃料	GJ	10.0	8.7	7.4	7.1	17.8	140.9%	
		水	千m ³	22.8	20.0	22.1	26.0	27.1	22.7%	
		化学物質	ton	20.7	14.4	11.1	14.2	14.4	14.4	-29.7%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,779	1,582	1,623	2,016	2,440	2,440	50.3%
		化学物質	ton	15.0	12.6	9.0	13.0	8.1	8.1	-10.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	15.5	20.0	21.2	23.2	30.8	30.8	45.7%
		廃棄物 再資源化	ton	14.8	19.7	19.3	35.2	28.8	28.8	49.0%

カワイ精密金属(株)松本工場 長野県松本市 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612m ²	INPUT	電気	GJ	57,070	50,632	34,959	30,391	34,890	42,514	39.9%
		燃料	GJ	7,132	7,399	4,576	4,009	4,476	5,270	31.5%
		水	千m ³	42.1	87.5	84.2	81.7	92.9	95.2	16.6%
		化学物質	ton		85	40.8	30.3	32.8	36.3	19.8%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	2,834	1,919	1,671	1,909	2,313	38.5%
		化学物質	ton		60.0	39.3	20.1	25.0	27.9	38.8%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		12.4	13.8	9.2	12.3	12.9	40.2%
		廃棄物 再資源化	ton	61.4	78.6	68.7	53.9	14.8	16.2	-69.9%

本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784m ²	INPUT	電気	GJ		9,823	8,960	8,989	7,198	5,864	-34.8%
		燃料	GJ		6,268	597	546	645	564	3.2%
		水	千m ³		7.7	5.1	4.4	4.4	4.5	2.0%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		492	450	448	374	307	-31.5%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	6.4	7.1	8.0	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	ton		22.8	14.7	14.0	20.9	28.6	105.0%



第三者意見



東京工業大学 大学院 教授
中崎 清彦 先生

本環境社会報告書には、カワイグループの事業活動にともなう環境報告、社会性報告が適正にまとめられている。

本報告書からカワイグループが企業としての価値を高めるために実に様々な視点からの取り組みをおこなっていることがわかる。商品開発については、ピアノという製品の性質上、新製品が次から次へと出てくるものではないと思われるが、2014年度には「Kシリーズ」や「ANYTIME」で新製品を発売している。また、デジタルピアノ「CNシリーズ」が米国の栄えある賞を受賞したことが紹介されており、技術力に高い評価を得ていることがわかる。環境配慮については、多様な環境指標を解析し、植林も継続的におこなって環境にやさしい企業活動であろうとする努力が伝わるものとなっている。また、社会性にかかわる報告については、社内の体制と内部統制が適正に整備され、株主、投資家ののみならず、顧客、地域とのかかわりにいたるまで配慮が行き届いている様子が見て取れる。自らが理念としている好感度企業を実現するための地道な取り組みがなされていることがうかがえる。なお、顧客との関係の中で文化貢献活動、教育事業、健康づくりシステム、スポーツコミュニティは深謀遠慮の取り組みと思う。コンサートを聴いて音楽を始めたくなつた、健康づくりシステムがよかつたからミュージックスクールも、自分の子供も同じ音楽教室を、のように、カワイの提供するサービスを使用したいと思う新たな顧客の掘り起しにも有効な方法と思われる。

その他の個々の優れた点については、中期計画の達成度評価とこれからの方針がWEB上で公開されており、紙媒体で概説したことが電子媒体でより詳細に述べられていること、女性調律師や管理職登用など、男女共同参画の考えに即した、女性にとってもより魅力的な職場として成長してきていること、さらに、震災復興のためのチャリティーコンサートを継続するとともに、カワイの森育成会が林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参画し、継続的な震災対応の一翼を担っていることがあげられる。企業が収益を上げる過程で、周りの皆が様々ななかたちの満足を得るために、企業としての価値を高める、今後一層の取り組みを期待したい。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学大学院教授 中崎清彦先生から第三者意見を賜ることができました。厚く御礼申し上げます。

その中で、事業活動にともなう環境負荷低減のためのエネルギー使用量や産業廃棄物排出量の削減活動とともに、環境に配慮した製品開発の取組みを取り上げていただきましたことは、今後のモノづくりの方向性が確認できたものと思います。一方、社会的側面における社内の体制整備と人々の健康や文化に貢献する活動、また男女共同参画の視点から的人材育成の継続的な取組みについてご高評をいただきましたことは、今後の継続的取組みを考える上で大いに励みになるお言葉として受け止めております。

今後も事業活動における地球環境の保全活動、文化貢献活動を通じて「カワイブランド」の価値の向上と持続可能な社会の実現に寄与できるよう継続的にPDCAサイクル（Plan・Do・Check・Action）を廻していくことが重要な課題と捉えて、CSR活動を推進してまいりたいと考えます。

今後もカワイグループの取組みについて、皆様へ分りやすい情報の開示に務めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)

最後までお読みいただきましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、この頁をFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書 2015へのご意見・ご感想

該当項目の□にチェックをお願いします。

Q1 環境社会報告書をどのようなお立場でお読みになられましたか？

- | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 投資家・株主として | <input type="checkbox"/> 河合楽器と取引関係にある | <input type="checkbox"/> カワイグループの従業員・家族 |
| <input type="checkbox"/> 政府・行政機関 | <input type="checkbox"/> 環境NGO・NPOとして | <input type="checkbox"/> 報道機関 |
| <input type="checkbox"/> 企業の環境担当者 | <input type="checkbox"/> 学生 | <input type="checkbox"/> 環境専門家・教育者・研究者 |
| <input type="checkbox"/> 事業所近隣の方 | <input type="checkbox"/> 製品のユーザー | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

Q2 環境社会報告書を何でお知りになりましたか？

- | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ウェブサイト（カワイ・カワイ以外） | <input type="checkbox"/> 環境セミナー等で | <input type="checkbox"/> 新聞・雑誌 |
| <input type="checkbox"/> 営業マン・教室・先生から | <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

Q3 この環境社会報告書をお読みになってどのようにお感じになりましたか？

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ・報告書のわかりやすさ | <input type="checkbox"/> よくわかる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> わかりにくい |
| ・内容 | <input type="checkbox"/> 充実 | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 物足りない |
| ・情報量 | <input type="checkbox"/> 多すぎる | <input type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 不足である |

Q4 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？（いくつでも）

- | | |
|---|---|
| ◎企業概要 | ◎社会性報告 |
| <input type="checkbox"/> 表紙 | <input type="checkbox"/> 経営計画 |
| <input type="checkbox"/> 編集方針 | <input type="checkbox"/> 第4次中期経営計画 |
| <input type="checkbox"/> 社長コミットメント | <input type="checkbox"/> コーポレート・ガバナンス |
| <input type="checkbox"/> カワイグループの事業と会社の概況 | <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス体制・内部統制システム |
| <input type="checkbox"/> 経営の理念・行動指針 | <input type="checkbox"/> リスク管理体制 |
| <input type="checkbox"/> カワイグループのあゆみ | <input type="checkbox"/> 株主・投資家の皆様とともに |
| <input type="checkbox"/> 音楽を通じた支援活動 | <input type="checkbox"/> お客様との関係 |
| ◎環境報告 | <input type="checkbox"/> 文化貢献活動 |
| <input type="checkbox"/> カワイの環境への取り組み | <input type="checkbox"/> 教育事業 |
| <input type="checkbox"/> 地球環境憲章・環境方針・環境推進組織 | <input type="checkbox"/> カワイ健康づくりシステム |
| ◎環境経営 | <input type="checkbox"/> スポーツコミュニティ |
| <input type="checkbox"/> 2014年度の環境目標と実績 | <input type="checkbox"/> コミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 事業活動に伴う環境配慮 | <input type="checkbox"/> 地域社会との共生 |
| <input type="checkbox"/> 地球温暖化の防止 | <input type="checkbox"/> 地域との交流 |
| <input type="checkbox"/> 製品の環境負荷（LCA） | <input type="checkbox"/> 情報発信 |
| <input type="checkbox"/> 廃棄物削減・再資源化 | <input type="checkbox"/> 環境社会報告書のウェブサイトによる開示 |
| <input type="checkbox"/> グリーン調達 | <input type="checkbox"/> 環境社会報告書の継続的発行 |
| ◎環境配慮型製品 | ◎資料編 |
| <input type="checkbox"/> ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵 | <input type="checkbox"/> 環境負荷サイト別一覧 |
| <input type="checkbox"/> 省電力型デジタルピアノ | <input type="checkbox"/> 第三者意見 |
| <input type="checkbox"/> カワイ防音ルームナサー | <input type="checkbox"/> アンケートのお願い |
| <input type="checkbox"/> 環境パフォーマンス | |
| <input type="checkbox"/> マテリアルバランス | |

Q5 環境社会報告書の内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄にご記入願います。（個人情報に関しては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません）

お名前	ふりがな		
	男・女 年齢 歳		
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒 一		
ご連絡先	TEL E-mail	FAX	
ご職業 (勤務先・部署・役職名)			

FAX 053-457-1300

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地 株式会社 河合楽器製作所 総務人事部 CS環境室 行

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

株式会社 河合楽器製作所

お問合せ先

カワイ地球環境委員会

事務局：総務人事部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地

TEL: 053-457-1252 FAX: 053-457-1300

URL:<http://www.kawai.co.jp>

